

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業

現地からのお便り

2016年8月

コンサベーション・インターナショナル

果樹の植樹と野菜の植え付け

4月も植樹の季節です。3月から継続し、リンゴ、イチジク、サクランボ、プラム、柿、ナツメヤシ、クルミ、山椒などの苗をデモサイトに植えました。リンゴ、サクランボ、プラム、クルミの苗の多くは6月に芽を出しましたが、他の苗は、移植のストレスからの回復中です。トウガラシ、トマト、白豆、リママメ、大豆、黒豆、赤インゲンは、木の根元に植えました。



アグロフォレストリーデモサイトの全景© Wang Heng



苗の成長状況をモニタリング© Liang Bo

家畜の飼育施設と浄化槽の工事開始

成都農林研究所と Junqiao エコファームの専門家、プロジェクトのスタッフ、コンサルタントが、家畜の飼育計画や施設の設計について、森林局の職員やガンブ村の住民たちと話し合い、計画がまとまりました。養豚場とコンポスト設備の工事は5月に始まり、7月上旬に完成する予定です。養鶏場は8月頃に完成する予定です。



家畜の飼育施設と浄化槽の建築工事© Jin Yan

炭素貯蔵と生物多様性の基礎調査

生物多様性と炭素貯蔵の基礎調査が5月に実施されました。昨年は4月に調査したのですが、4月はデモサイトへの植樹で人の往来も多く、そのことによって鳥や昆虫たちも影響されたと考えられたため、一ヶ月遅らせることにしました。調査結果を比較しやすいように、調査者はそれぞれ昨年と同じところを調査しました。



生物多様性のモニタリング© Jin Yan

農作物調査実施

アグロフォレストリーのシステムを推進するためには、アグロフォレストリーのデモサイトで収穫した作物を販売することがとても重要です。販売に向け、地元の市場をよりよく理解するため、ガンブ村の地元ビジネスオーナーや観光客へのインタビューを通じ、農作物に関する調査を行いました。観光客は、一般的な野菜よりも野生のキノコやハーブ、地鶏などの特産物を

より好む傾向があり、そのために支払ってもよいと考える価格は通常価格の二倍だということがわかりました。地元の市場以外にも販売経路を開拓する必要があります。

アグロフォレストリーシステムのハンドブック完成

アグロフォレストリーシステムづくりとその管理運営のためのハンドブックと、ガンブ村の農業カレンダー付きノートが完成しました！7月に開催される予定の、家畜の飼育トレーニングのときに村民に配布する予定です。ハンドブックとカレンダー付きノートは、アグロフォレストリーについての理解を深め、病気や害虫に対するエコフレンドリーな対処方法を知る手助けとなります。

小学校における環境教育

昨年、森の中で行った環境教育に続いて、今年の4月にガンブ村の小学校で土壌についてのワークショップを開催しました。ワークショップでは、土壌の仕組みと成り立ちについて学びました。ガンブ村の土壌損失問題に焦点をあて、土中の植物の根の広がり方によってどのように土壌が保全されるかを紹介しました。最後に生徒たちは、使用後のプラスチックボトルを使って、自分たちの「エコボトル」を作りました。ガンブ村は乾燥した渓谷に位置しているので、長い間、土壌浸食問題に直面し続けています。このワークショップでの学びを通して、子どもたちは土壌が自分たちの故郷の美しい自然景観を守っていることを明確に理解することができました。



ガンブ村の小学校での環境教育活動© Wang Heng

コミュニケーション

植樹の様子やモニタリング、環境教育を行っている様子を写真やビデオで撮影して、プロジェクトのニュースレターに活用します。

茶馬古道（ちゃばこどう）

千年以上前から、隊商たちが貿易のために通ってきた歴史ある茶馬古道が、理県を通っています。お茶や塩が運ばれた、この広大な経路は、チベット、ミャンマー、インド半島にまでつながっており、その一部は理県のザグナオ川からチベット高原と四川盆地の中心にある成都に続いています。今も残っている古道の一部は、川谷の崖に見られます。観光地となった理県の Taopin 村から、茶馬古道に入ることができます。

今後の予定

家畜の飼育施設を完成させ、飼育方法とコンポスのトレーニングをします。アグロフォレストリーハンドブックをさらに配布し、アグロフォレストリーのデモサイトにおける保全契約の遂行状況をモニタリングします。水と土壌の損失のモニタリングを管理し、アグロフォレストリーやプロジェクトサイトの植生回復のスタディツアーを計画します。プロジェクトの記録やビデオ撮影も続けます。

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。